

# 中小企業白書の経年比較分析

中小企業白書は、中小企業庁により取りまとめられ、例年4月末ごろに閣議決定し、公表される。

その構成は、主に「中小企業の動向」と「中小企業施策」である。

本経年比較分析では、最新版含め3か年分の中小企業白書を比較し、各年次の特徴を明らかにするとともに、傾向を読み解くことによって、中小企業診断士として押さえておくべき中小企業白書の重要項目をまとめている。

## <<2023年版中小企業白書>>

### 第1部 2022年度中小企業の動向

1. 経済の現状
2. 激変する外部環境と中小企業の取組  
→感染症の影響とカーボンニュートラル
3. 中小企業の実態に関する構造分析  
→価格転嫁、労働生産性
4. 中小企業におけるイノベーション
5. 地域内の企業立地



### 第2部 変革の好機を捉えて成長を遂げる中小企業

1. 成長に向けた価値創出の実現  
→感染症流行下でも売上高が増加している等の「成長企業」が行っている取組を多岐に渡り分析
2. 新たな担い手の創出  
→2021年に分析をした**事業承継・M&A**に加えて**起業・創業**について改めて詳しく分析。
3. 中小企業・小規模事業者の共通基盤  
→近年の要素価格上昇に伴う**価格転嫁**の状況、**デジタル化**の進みについての詳しい分析、「経営力再構築伴走支援」の実施に伴う支援機関の課題や能力向上について分析

経営者や経営の「改善」に当てていた昨年の視点から変わって、今年は主に外部や経営の「変革」に視点を当てている。

## <<2022年版中小企業白書>>

### 第1部 2021年度中小企業の動向

1. 経済の現状
2. 中小企業の現状
3. 雇用の現状
4. 原油・原材料価格の高騰
5. 事業継続計画の取組
6. 労働生産性と分配
7. 経営資源の有効活用



### 第2部 新たな時代へ向けた自己変革力

1. 中小企業における足下の感染症への対応  
→感染症における各種支援策や政策の影響
2. 企業の成長を促す経営力と組織  
→ブランド形成・人的資本等の無形資産への投資や経営者の知識・能力・時間。「脱炭素化」「ビジネス上の人権尊重」などを分析
3. 共通基盤としての**取引適正化とデジタル化**、経営力再構築伴走支援  
→燃料をはじめとした要素価格の高騰と、その**価格転嫁の状況**を分析。「経営力再構築伴走支援」を紹介

## <<2021年版中小企業白書>>

### 第1部 2020年度中小企業の動向

1. 中小企業の動向  
→GDPは4.8%減
2. 中小企業の実態  
→**労働生産性**や**開廃業率**について再掲
3. 中小企業政策の方向性  
→中小企業政策のKPIを提示



### 第2部 危機を乗り越える力

1. 中小企業の財務基盤と感染症の影響を踏まえた経営戦略
2. 事業継続力と競争力を高める**デジタル化**  
→感染症により**デジタル化**の意識向上  
→**生産性向上**を意識したデジタル化
3. **事業承継**を通じた企業の成長・発展とM&Aによる経営資源の有効活用  
→M&Aについて、踏み込んだ分析

全体に「新型コロナウイルスの影響」を分析